

山行名	西吾妻山・磐梯山・会津駒ヶ岳 ### [福島県]2035m/1819m/2133m (1/2)
実施日	2017年10月20日[金]~22日[日] 2泊3日
レベル/参加人員	レベル:★★★ 参加人員:申込13名/実施11名(男性5名、女性6名)
パーティスタッフ	CL: SL: 会計: 救護: 写真: ドライバ
参加メンバ	省略
費用 1人当たり: 26,900円/人 カンパ金:480円	【交通費関連】マイカー使用料:900km*10*2台=¥18,000、燃料代(2台分): ¥35,100、ドライバ謝礼:5,000円/日*3日*2台=¥30,000、高速道路代(2台*往復)¥22,430、天元台高原ロープウェイ&リフト代:@1900*11名=¥20,900 【宿泊代関連】磐梯荘:@6800*11名=¥74,800、尾瀬の宿こまどり:@8000*11名+α¥89,890、燧の湯入湯料:@300*11名=¥3,300 【その他】通信費:¥1,000、カンパ金:¥480 合計:¥29,5900 ⇒ 一人当たり¥26,900

歩行時間/行動時間

	10/20[金]			10/21[土]			10/22[日]		
	歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動
ガイドブック	4:55	-	-	4:00	-	-	5:55	-	-
計画	5:00	1:10	6:10	4:10			6:00	1:35	7:35
実績	6:00	1:27	7:27	4:10	1:10	5:20	荒天のため中止		

歩行時間率(実績/計画):10/20[金]=120%

10/21[土]=100%

実行コースタイム記録

10/20[金]	(圏央道) (東北自動車道) (磐越自動車道)	ロープウェイ、リフト	17'	20'			
本厚木	羽生 PA	鏡石 PA	猪苗代磐梯高原 IC	白布湯本駅	北望台(リフト終点)	人形石分岐	
3:00 発	4:15-52			8:45-9:00	9:55-10:03	10:20	
	55'	33'	10'	2:15(休 27')	1:30(休 15')		
—大凹—	梵天岩	西吾妻小屋	西吾妻山	若女平	白布湯本駅	磐梯荘	
10:40	11:35-47	12:20-45	12:55-13:03	15:45	17:30 頃	18:30 頃	
10/21[土]		1:35(休 15')	30'	40' (昼食)	1:25(休 15')		
	磐梯荘	八方台登山口	中ノ湯跡	弘法清水	磐梯山山頂	お花畑分岐	中ノ湯跡
5:30 起床	6:45	7:25-45	8:20	9:35-58	10:28-35	11:15-25	
—八方台下山口—	檜枝岐村こまどり荘						
13:05-14:25	17:15 頃						
10/22[日]					(東北自動車道) (圏央道)		
檜枝岐村こまどり荘	燧ノ湯	檜枝岐山人新そば祭り	西郡須野塩原 IC	圏央厚木 IC	本厚木		
6:00 起床	7:40	8:10-9:30	9:50-10:40		16:00 頃		

コースの概要、特記事項、反省事項等

経緯および概要

会津地方(福島県)の日本百名山三山をマイカーで回る山行計画を立案した。マイカーの機動性を活かして、『西吾妻山:ロープウェイ、リフトを利用して高度を稼ぎ、登頂後若女平経由で周回』、『磐梯山:宿泊先の送迎サービスを活用して縦走』および『会津駒:登山口⇄山頂ピストン』するコース設定し、それぞれの特徴を活かした内容とした。

実施直前の週には長期間に渡って秋雨前線が日本列島に停滞し、更には南海上で発生した台風21号は今年最大の規模で日本列島に迫っているとの予報であり、特に山行の3日目はかなり高い降水確率となっていた。このところ、実施可否判断を「降水確率40%以上は中止」と設定している山行計画が散見され、「好天が見込まれなければ行きたくない」と考える方々に配慮し、実施3日前に参加メンバに最終確認を取ったが、キャンセルの申し出はなく、最新の天気予報を追いかけながら適宜判断することを前提に、計画通りに実施することにした。

10/20[金] 曇り後雨 マイカー2台に分乗して予定通りに厚木を3:00に出発した。さすがにこの時間だと道路は空いていて順調であったが、一部ミスコースもあって、白布湯本駅には30分以上遅れての到着となった。「山頂周辺には昨夜、10cmほどの積雪があったが、ほぼ融けてしまっている」との情報があり、出発時は霧雨状態であった。ロープウェイとリフトを3本乗り継いで北望台まで行くことから、ここでレインウェアを着込んで準備を整えたが、この天候で山頂を目指す者は我々のみで、1日中、西吾妻山全体を貸し切り状態で独占することになった。

西吾妻山山頂周辺はなだらかな地形で、梵天岩を過ぎた辺りから木道が多くなってきて、濡れていると滑りやすい状態であることからKEさんご推薦で、メンバの皆さんに準備していただいた“荒縄”を早速装着することにした。他にも“園芸用シュロ縄”や“スパイクアイゼン”をつける者もいて、それぞれに滑りにはある程度の効果を発揮したようであるが、如何せん装着性や耐久性に問題があり、早々に外れてしまったり、縄が切れてしまったりした。

丁度お昼の時間に西吾妻小屋に到着しここで昼食を摂って、山頂までピストンしたあと下りになるが、計画に対し1時間以上の遅れとなっていた。前日に観光協会に確認した際に「若女平経由の下りは雨が降ると登山道に水が流れ込んで沢のようになり、途中には危険な箇所もある」というような情報を入手していたが、確かに滑りやすく非常に歩きにくい状態であった。このような状態が3時間以上も続くことが分かっていたので、来た道に戻ってリフトで下山することも考えたが、「折角百名山に来て、リフトで登って少し歩いて、またリフトで下山するのではつまらない」というような意見があり、午後からも降ったり止んだりを繰り返す悪天候の中を、結構な水が流れるゴロゴロ石やぬかるんだ粘土質の登山道をほとんどの方が何度も足を滑らせて転びながら下っていった。若女平到着時には1:45遅れとなり夕暮れも迫っていることから、CLおよびSTさんの2名がマイカーピックアップのため先行隊となって進むことにして、結局、下山口に全員が合流した時には日もどっぷりと落ちた、計画に対し2時間遅れの17:30頃になっていた。

宿泊先の“磐梯荘”に到着すると、明日の猪苗代スキー場登山口からの縦走後の八方下山口に車を回しておく計画であったが、かなり遅い到着になったことと併せて、明日も好天は望めそうにないことから、八方登山口からのピストンに切り替えることで、メンバの皆さんの了解を得た。

夕食時には、約2週間前に日本百名山完登を達成されたSRさんのお祝いのため準備されていたシャンパンやワインを抜いて祝福し、早い部屋は21時過ぎに、また遅い部屋でも22時には就寝した。

10/21[土] 曇り一時小雨

八方登山口からのピストンに切り替えたので時間的に余裕があることから、出発を1:45遅くして宿をあとにした。曇天ではあるが山歩きには暑くもなく寒くもなく絶好ともいえる。登山口からは樹々の紅葉とそれが散って敷き詰められたなだらかな登山道の歩きが続いてとても気持ちが良い。30分もすると硫黄の匂いが立ち込めてきて、中ノ湯温泉跡に出る。以前には温泉宿が何件もあったようだが、火事で丸焼けになったものもあり、ネット情報によると10年以上前に営業を停止したとのことで、TTCの諸先輩の中にはこの温泉を利用された方がおられるのではないかと問いを巡らす。弘法清水小屋でゆっくりと休憩してコーヒーやお汁粉を頂いた後、やや急斜面を30分ほど登って磐梯山山頂に到着。“宝の山”と謳われる磐梯山は360度のパノラマビューを堪能できるのだが、残念ながらガスに覆われてほとんど見通しが利かない。往路をピストンでのんびりと下ったが、それでも13時過ぎに下山口に降り立った。本日の宿がある檜枝岐村までは車で2時間半ほどの道のりであるが、途中で酒蔵に寄り道したりして17時過ぎに“こまどり荘”に到着した。

夕食時に最新天気予報を確認すると、心配していた台風21号が予想よりも早く日本列島に接近中で、明日は1日中雨、会津駒ヶ岳山頂に相当する標高2000m付近は「午前中:9%、午後:12~13%」の暴風雨状態が予想されていた。今回の山行はHMさんの日本百名山完登がかかっている、最後まで何とか登ることはできないかと考えたが、この状態で決行するのは無謀であると判断し中止することで、メンバの皆さんの了解をいただいた。

10/22[日] 雨

予報通り朝から雨が降り続けている。登山中止の場合の代わりを準備していたわけではないが、幸いにも檜枝岐村では『山人新そば祭り』が開催されており、「①檜枝岐村で宿泊」、「②檜枝岐村の温泉利用」、「③特産品コーナーで500円以上の買い物」の3つの条件をクリアすれば何と2,000円がキャッシュバックされるという特典情報を宿の女将さんより入手した。通常であれば500円/人の入湯料が300円/人になる割引券を購入して“燧の湯”でゆっくりと時間を過ごし、特産品コーナーでそれぞれに買い物を済ませて、2,000円キャッシュバックの特典をしっかりと受け取った。2台の車で来ているのでここで解散することとし、帰路は渋滞もほとんどなく、台風が接近する前の16時頃に厚木に無事に帰着した。

悪天候が予想される中での実施であり、適宜判断する場面が幾度かあったが、メンバの皆さまのご協力によって無事に終えることができました。感謝致します。